

第65回 花巻市景況調査結果

(2026年4月～6月期)

花巻市景況調査
花巻市内中小企業100社を対象として4半期ごとに調査を実施。今回の回収率は99%。

DI値・・・「好転」「増加」の割合から「悪化」「減少」の割合を差し引いた数値。DI値プラスは「好転」、マイナスは「悪化」を表す。

⇒「業況判断DI 2.0ポイント増加」(▲34.1→▲32.1)
⇒「売上額DI 35.1ポイント増加」(▲44.9→▲9.8)

業況判断DI ▲32.1(全国平均▲17.5)

花巻市の業況判断DIは、全産業平均で▲32.1(前期▲34.1、前期差2.0ポイント増)とマイナス幅が縮小した。全国平均(▲17.5)と比較すると14.6ポイント、東北平均(▲22.4)よりも9.7ポイント低い数値を示した。産業別に見ると、製造業は横ばい、建設業は52.6ポイント減少し、卸売業は37.5ポイント、小売業は20.0ポイント、サービス業は5.6ポイント増加した。建設業は2期ぶりにマイナスに転じた。来期の見通しは、製造業でマイナス幅が拡大され、その他の産業では横ばいと予想されている。

全国の調査結果では、▲17.5(前期▲11.4、前期差6.1ポイント減)となり、2期ぶりにマイナス幅が拡大した。産業別に見ると、製造業の業況判断DIは、▲15.4(前期▲10.1、前期差5.3ポイント減)と2期ぶりにマイナス幅が拡大した。また、非製造業の業況判断DIは、▲18.1(前期▲11.7、前期差6.4ポイント減)と2期ぶりにマイナス幅が拡大した。

東北経済産業局管内では、6県平均▲22.4(前期▲17.4、前期差5.0ポイント減)となり、2期連続してマイナス幅が拡大した。また、岩手県では、▲27.7(前期▲18.8、前期差8.9ポイント減)となり、4期連続してマイナス幅が拡大した。

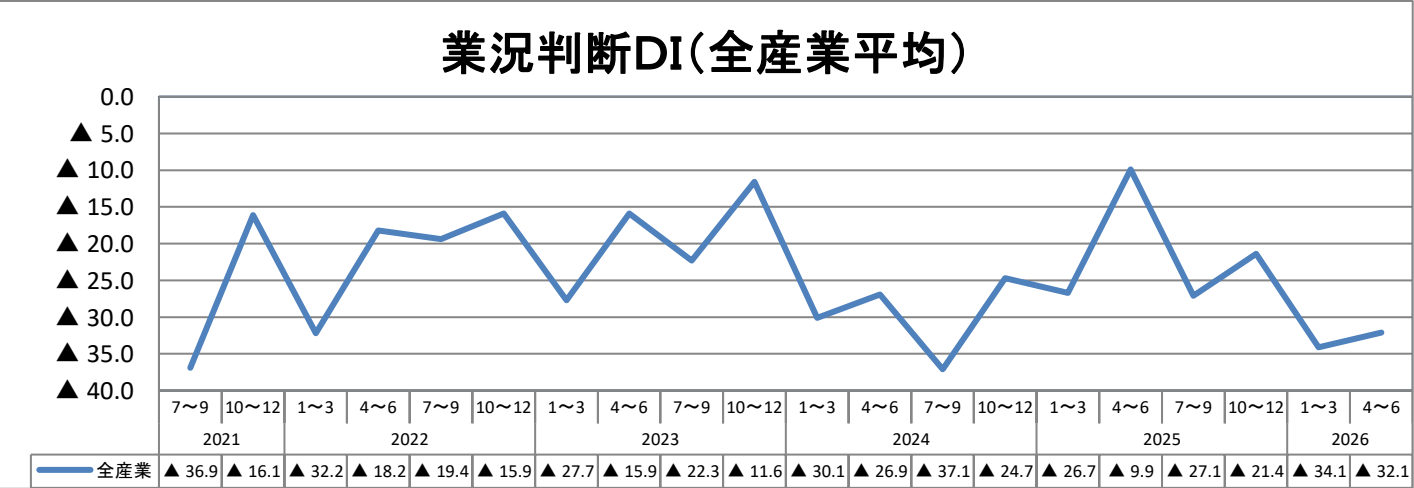
(DI値比較)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
全 国 平 均	▲ 15.4	▲ 16.5	▲ 11.5	▲ 25.5	▲ 14.5	▲ 17.5
東 北 平 均	▲ 23.9	▲ 21.0	▲ 19.5	▲ 29.4	▲ 17.2	▲ 22.4

業況判断DI(前期比)

年	2021		2022				2023				2024				2025				2026		前期 増減		来期 予想
月期	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6			
製造業	▲ 38.9	5.6	▲ 16.7	▲ 27.8	▲ 16.7	▲ 27.8	▲ 27.8	▲ 5.6	▲ 22.2	11.1	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 22.2	▲ 16.7	▲ 11.1	▲ 38.9	5.6	▲ 16.7	▲ 16.7	→	0.0	▲ 22.2
建設業	▲ 15.0	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 26.3	▲ 21.1	▲ 36.8	▲ 26.3	▲ 26.3	▲ 36.8	5.3	▲ 36.8	▲ 21.1	▲ 21.1	▲ 21.1	▲ 21.1	0.0	▲ 26.3	▲ 26.3	10.5	▲ 42.1	↘	▲ 52.6	▲ 42.1
卸売業	▲ 55.6	▲ 11.1	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	44.4	▲ 11.1	0.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 62.5	▲ 25.0	↗	37.5	▲ 25.0
小売業	▲ 36.1	▲ 31.4	▲ 51.4	▲ 31.4	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 34.3	▲ 25.7	▲ 42.9	▲ 31.4	▲ 62.9	▲ 42.9	▲ 48.6	▲ 31.4	▲ 28.6	▲ 57.1	▲ 74.3	▲ 54.3	↗	20.0	▲ 54.3
サービス業	▲ 38.9	▲ 27.8	▲ 44.4	▲ 5.6	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 27.8	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 22.2	▲ 11.1	0.0	▲ 22.2	5.6	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 27.8	▲ 22.2	↗	5.6	▲ 22.2
全産業	▲ 36.9	▲ 16.1	▲ 32.2	▲ 18.2	▲ 19.4	▲ 15.9	▲ 27.7	▲ 15.9	▲ 22.3	▲ 11.6	▲ 30.1	▲ 26.9	▲ 37.1	▲ 24.7	▲ 26.7	▲ 9.9	▲ 27.1	▲ 21.4	▲ 34.1	▲ 32.1	→	2.0	▲ 33.2

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



売上額DI ▲9.8(全国平均▲11.1)

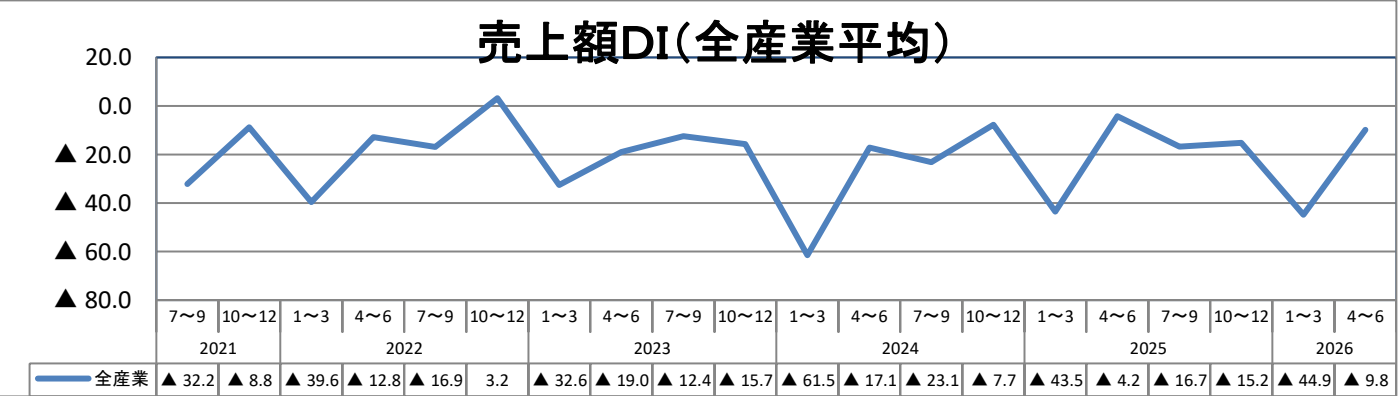
花巻市の売上額DIは、全産業平均で▲9.8（前期▲44.9、前期差35.1ポイント増）とマイナス幅が縮小した。産業別に見ると、製造業は44.4ポイント、卸売業は100.0ポイント、小売業は34.3ポイント、サービス業は38.9ポイント増加し、建設業は42.1ポイント減少を示した。製造業は2期ぶり、卸売業は6期ぶりにマイナスを脱した。来期の見通しは建設業でマイナス幅が縮小し、その他の産業ではマイナス幅が拡大もしくははマイナスに転じると予想されている。

全国の調査結果では、▲11.1（前期▲6.7、前期差4.4ポイント減）と低下し、2期ぶりにマイナス幅が拡大した。産業別に見ると、製造業で▲7.1（前期▲4.0、前期差3.1ポイント減）と低下し、2期ぶりにマイナス幅が拡大した。また、非製造業で▲12.4（前期▲7.6、前期差4.8ポイント減）と低下し、2期ぶりにマイナス幅が拡大した。

売上額DI(前期比)

年	2021		2022				2023				2024				2025				2026		前期 増減		来期 予想
月期	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6			
製造業	▲ 38.9	38.9	▲ 27.8	▲ 22.2	▲ 33.3	44.4	▲ 27.8	▲ 22.2	▲ 33.3	27.8	▲ 50.0	0.0	▲ 5.6	▲ 5.6	▲ 27.8	11.1	▲ 16.7	27.8	▲ 38.9	5.6	↗	44.4	0.0
建設業	0.0	▲ 26.3	▲ 21.1	▲ 52.6	▲ 31.6	▲ 10.5	▲ 42.1	▲ 42.1	10.5	▲ 15.8	▲ 47.4	▲ 26.3	▲ 21.1	▲ 10.5	▲ 15.8	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 31.6	5.3	▲ 36.8	↘	▲ 42.1	▲ 26.3
卸売業	▲ 66.7	0.0	▲ 33.3	33.3	0.0	33.3	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 12.5	12.5	▲ 75.0	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 75.0	25.0	↗	100.0	▲ 12.5
小売業	▲ 16.7	▲ 40.0	▲ 65.7	▲ 11.4	▲ 8.6	▲ 40.0	▲ 54.3	▲ 11.4	▲ 20.0	▲ 48.6	▲ 60.0	▲ 28.6	▲ 48.6	▲ 51.4	▲ 60.0	▲ 20.0	▲ 25.7	▲ 48.6	▲ 77.1	▲ 42.9	↗	34.3	▲ 48.6
サービス業	▲ 38.9	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 5.6	5.6	5.6	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 5.6	▲ 27.8	16.7	▲ 38.9	11.1	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 38.9	0.0	↗	38.9	▲ 33.3
全産業	▲ 32.2	▲ 8.8	▲ 39.6	▲ 12.8	▲ 16.9	3.2	▲ 32.6	▲ 19.0	▲ 12.4	▲ 15.7	▲ 61.5	▲ 17.1	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 43.5	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 15.2	▲ 44.9	▲ 9.8	↗	35.1	▲ 24.1

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



経常利益DI ▲36.9(全国平均▲25.4)

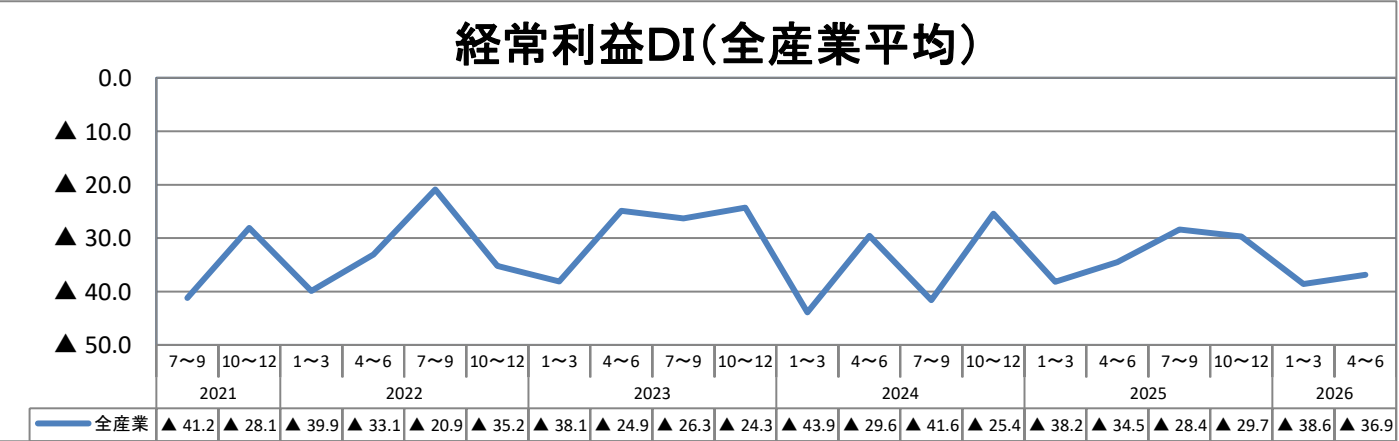
花巻市の経常利益DIは、全産業平均で▲36.9（前期▲38.6、前期差1.7ポイント増）と横ばいとなった。産業別に見ると、卸売業は横ばい、製造業は16.7ポイント、サービス業は5.6ポイント増加し、建設業は5.3ポイント、小売業は8.6ポイントマイナス幅が拡大した。来期の見通しは、製造業でマイナスに転じ、その他の産業ではマイナス幅が縮小もしくはは横ばいと予想されている。

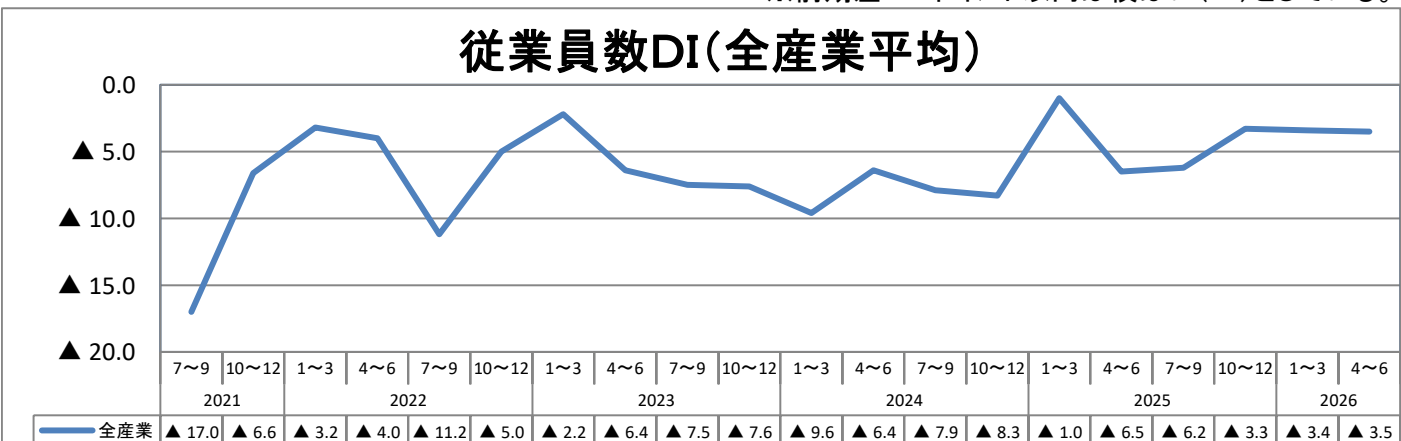
全国の調査結果では、▲25.4（前期▲22.5、前期差2.9ポイント減）と低下し、2期ぶりにマイナス幅が拡大した。産業別に見ると、製造業で▲21.9（前期▲18.5、前期差3.4ポイント減）と低下し、3期ぶりにマイナス幅が拡大した。また、非製造業で▲26.5（前期▲23.9、前期差2.6ポイント減）と低下し、3期連続してマイナス幅が拡大した。

経常利益DI(前年同期比)

年	2021		2022				2023				2024				2025				2026		前期 増減		来期 予想
月期	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6			
製造業	▲ 38.9	0.0	▲ 44.4	▲ 38.9	▲ 22.2	▲ 38.9	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 38.9	▲ 16.7	▲ 27.8	▲ 27.8	▲ 11.1	▲ 5.6	▲ 11.1	5.6	↗	16.7	▲ 22.2
建設業	▲ 20.0	▲ 42.1	▲ 31.6	▲ 42.1	▲ 36.8	▲ 52.6	▲ 42.1	▲ 47.4	▲ 26.3	▲ 26.3	▲ 68.4	▲ 26.3	▲ 36.8	▲ 15.8	▲ 21.1	▲ 26.3	▲ 36.8	▲ 31.6	▲ 36.8	▲ 42.1	↘	▲ 5.3	▲ 42.1
卸売業	▲ 55.6	▲ 22.2	▲ 22.2	▲ 11.1	22.2	11.1	▲ 11.1	▲ 12.5	▲ 37.5	0.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 37.5	→	0.0	0.0
小売業	▲ 47.2	▲ 37.1	▲ 45.7	▲ 40.0	▲ 28.6	▲ 51.4	▲ 48.6	▲ 31.4	▲ 34.3	▲ 34.3	▲ 40.0	▲ 34.3	▲ 60.0	▲ 57.1	▲ 62.9	▲ 60.0	▲ 34.3	▲ 51.4	▲ 68.6	▲ 77.1	↘	▲ 8.6	▲ 65.7
サービス業	▲ 44.4	▲ 38.9	▲ 55.6	▲ 33.3	▲ 38.9	▲ 44.4	▲ 55.6	▲ 16.7	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 27.8	▲ 33.3	▲ 22.2	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 22.2	▲ 38.9	▲ 33.3	↗	5.6	▲ 27.8
全産業	▲ 41.2	▲ 28.1	▲ 39.9	▲ 33.1	▲ 20.9	▲ 35.2	▲ 38.1	▲ 24.9	▲ 26.3	▲ 24.3	▲ 43.9	▲ 29.6	▲ 41.6	▲ 25.4	▲ 38.2	▲ 34.5	▲ 28.4	▲ 29.7	▲ 38.6	▲ 36.9	→	1.7	▲ 31.6

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。





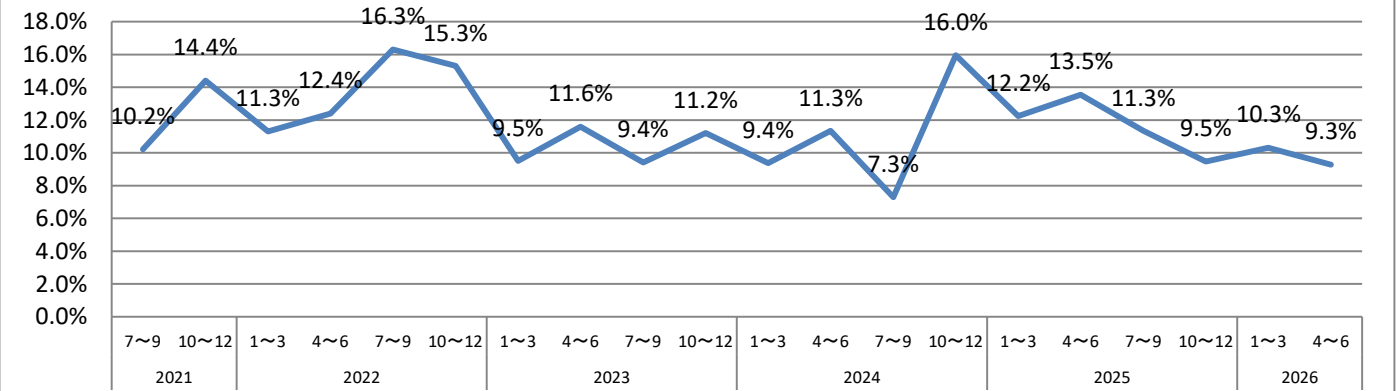
設備投資動向

・ 今期設備投資を実施した企業の割合は9.3%（前期10.3%、前期差1.0%減）となり2期ぶりに低下した。
・ 来期設備投資を計画している企業の割合は6.3%（前期14.6%、前期差8.3%減）となり、設備投資予定の企業は減少した。
・ 全国調査結果では17.5%（前期17.0%、前期差0.5%増）とやや増加。来期の見通しは20.0%と増加を見込んでいる。

設備投資動向（今期）

年	2021		2022				2023				2024				2025				2026		前期増減		来期
月期	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6			予想
全産業	10.2%	14.4%	11.3%	12.4%	16.3%	15.3%	9.5%	11.6%	9.4%	11.2%	9.4%	11.3%	7.3%	16.0%	12.2%	13.5%	11.3%	9.5%	10.3%	9.3%	↘	-1.0%	6.3%

設備投資実施状況の推移（全産業平均値）



直面している経営上の問題点

【花巻市の調査における経営上の問題点と順位】

製造業	1位	人件費以外の経費の増加	29.5%
	2位	金利負担の増加	22.7%
	3位	需要の停滞	15.9%
建設業	1位	材料価格の上昇	19.6%
	2位	民間需要の停滞	11.8%
	2位	官公需要の停滞	11.8%
卸売業	1位	仕入単価の上昇	23.5%
	1位	人件費以外の経費の増加	23.5%
	2位	人件費の増加	23.5%
小売業	1位	仕入単価の上昇	24.7%
	2位	消費者ニーズの変化	16.9%
	3位	人件費以外の経費の増加	15.7%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	25.5%
	2位	人件費以外の経費の増加	21.3%
	3位	店舗・倉庫の老朽化	12.8%

【全国調査における経営上の問題点と順位】

製造業	1位	原材料価格の上昇	39.9%
	2位	需要の停滞	13.1%
	3位	生産設備の不足・老朽化	8.1%
建設業	1位	材料価格の上昇	42.1%
	2位	材料の入手難	19.5%
	3位	従業員の確保難	12.6%
卸売業	1位	仕入単価の上昇	35.0%
	2位	需要の停滞	15.2%
	3位	人件費の増加	8.3%
小売業	1位	仕入単価の上昇	32.4%
	2位	消費者ニーズの変化への対応	11.5%
	3位	需要の停滞	10.8%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	32.0%
	2位	利用者ニーズの変化への対応	9.7%
	3位	人件費の増加	9.6%

自由記述

【製造業】

- ・ 石油由来商品供給の先行き不透明感

【建設業】

- ・ 石油由来製品の価格高騰・納期遅延
- ・ ナフサ不足による建材仕入難

【卸売業】

- ・ 円安による仕入れ価格上昇
- ・ 中東情勢の影響による仕入商品の値上げ間隔が短いため価格転嫁が追いついていない

【小売業】

- ・ 物価高騰や流通の不安定状況が続いていて先の見通しが立たない
- ・ バス路線変更・廃止による客数の減少
- ・ 中東情勢の影響で資材・備品の値上がりが著しい
- ・ 商品・工事部品材料の入荷が遅れ作業・売上が滞っている
- ・ 早く戦争を終わらせてください

【サービス業】

- ・ クリーニング業界はパイの縮小が進んでいるが、その中で業績が順調なのは社長の目が届く比較的小規模な事業者です
- ・ 売上は前年より増額となっているが、仕入価格がそれ以上に高騰していて利益が上がっていない
- ・ 仕入コスト上昇・品薄とエネルギー価格高騰で大きな影響がある